

1. はじめに

障害者差別解消法の施行から3年が経過しました。また、同じ時に障害者雇用促進法も改正され、障害者雇用の促進も図られました。しかし、昨年8月には官公庁での障害者雇用水増しが発覚しました。その後、今回の障害者雇用問題に対しては障害者雇用促進法の改正など政府としての対応が進められていますが、私たちが求める障害者の範囲の見直しや事業者の合理的配慮提供の法的義務化は議論されていません。また、旧優生保護法の下で行われた不妊手術を巡って、全国7つの地方裁判所に国家賠償を求める訴訟が提起されており、これに対して、国会においては議員立法で救済法が成立しました。優生保護法が憲法違反であることの確認と謝罪、適正な国家賠償などの諸点が明確になっていません。

このような状況の中、協会は障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉保健局との懇談会や都議会各会派と予算ヒアリングを行い、東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりなどを求めてきました。また、耳マークの普及を通じての聴覚障害者の理解を求める重点的な活動を東京都内の交通機関に対して行いました。これらの活動を実行できたことは、認定NPOとしての協会に対する社会の一定の評価の表れであり、協会の社会的責任をより一層自覚させられた1年でした。

しかしながら、協会の内部状況はあとの「協会の財政」で詳述しますように、2018年度140万円を超える赤字の計上となりました。このままで推移すれば1-2年後には、協会活動は財政の困難から活動が立ち至らなくなります。現在の協会の財務状態を真摯に分析し、必要な対応をとることが現在の協会にとっての緊急課題と認識しています。

2. 協会の対外活動

2018年度の協会の対外活動は、昨年度同様東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、コミュニケーション学習の充実を求める行動を中心に進められました。

東京都の意思疎通支援者派遣事業は「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業(広域型行事への意思疎通支援者派遣)運営要綱」に従って実施されています。しかしながら、派遣目的の公益性・広域性の要件は依然として維持されており、障害者団体の利用が限定され、協会の理事会や専門部の役員会などが対象外となるなど協会活動を大きく制限する実態は変わっていません。年度ごとの事業予算には若干の増加が図られていますが、都道府県レベルの広域的な意思疎通支援事業としての位置づけは不明確であり、より一層の事業の拡充を求めて行く必要があると考えます。

一方、コミュニケーション学習においては中途失聴・難聴者手話講習会や東京都手話通訳等養成講習会指導者クラスの中途失聴・難聴者コースが、昨年度同様継続されました。しかしながら、中途失聴・難聴者手話講習会の多摩会場のクラス増や東京都読話講習会の多摩地域での実施は、依然として実現していません。また、東京都手話通訳等養成講習会指導者クラスの中途失聴・難聴者コースは入門クラス対象の手話指導者の養成が中心で、より進んだクラスの手話指導者の養成は未解決です。2020年以降の中途失聴・難聴者コース継続と同時に、指導者クラスの内容が来年度以降の課題と考えます。

数年来懸案となっている「耳マーク」普及活動については、東京都の私鉄交通機関への耳マークの普及を通じた聴覚障害への理解を求める行動を行いました。東京でも、すでに一部交通機関では耳マークの設置が行われていますが、要望行動の中で社会の聴覚障害者理解の遅れが実感されています。「耳マーク」は聴覚障害への理解を求めるツールです。来年度以降さらに積極的に「耳マーク」の普及を図ってきたいと考えます。

昨年度、「バリアフリー法」の改正があり、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けての福祉のまちづくりへの取り組みが加速していますが、情報バリアフリーへの対応は非常に遅れています。そのような中、羽田空港国際線ターミナルでは、空港内の音環境をバリアフリーとする調査が行われました。情報バリアフリー、音環境の改善は、社会から大きな関心を持たれてはいますが、少しずつその問題の重要性を理解する人が増えてきています。協会はそのような活動の先頭に立って来年度も活動を継続したいと考えます。

3. 協会の対内活動と組織強化

① 対内活動

11月4日、多摩市のパルテノン多摩で330名の参加を得て、第32回東京都中途失聴・難聴者の集いが開催されました。昨年の全国中途失聴者・難聴者福祉大会のあとで、開催の準備や集客が懸念されましたが、実行委員はじめ会員の皆様のご協力で無事開催することが出来ました。改めてお礼申し上げます。

協会の通年事業としては、前年度同様「地域コミュニケーション講座」を開催し、地域での中途失聴・難聴者の自立のための学習活動を実施しました。また、例年通り「高齢難聴者生きがい講座」、「手話講習会応用クラス」、「実践読話講習会」などを開催し、高齢難聴者の憩いの場として「手を動かそう」を毎月1回開催しました。協会が毎年実施するこれらの講座、講習会は中途失聴・難聴者が互いの交流を通じて学習を重ねる「場」として着実に実績を積み上げていると評価することができます。また、サークルは協会員の交流の場として今年度も非常に大きな役割を果たしました。非協会員や支援いただく人への働き掛けなどの課題を抱えていますが、今後ともサークル活動を中途失聴・難聴者の自助・共助の「場」として更に強化していきたいと考えます。

協会は6年前に組織改正を行い、協会の横断的課題への取り組みのために事業委員会、広報委員会、防災委員会の3つの専門委員会を設置しました。一方、専門部については現在文化部とコミュニケーション対策部が活動を停止しており、コミュニケーション関係の専門部のあり方について、検討することが課題となっていました。関係する専門部に対するヒアリングを理事会で実施しましたが、現在の専門部活動とコミュニケーション関係の課題の整理が出来ず、結論を出すに至りませんでした。本件については、次年度理事を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、検討を継続する計画です。

② 協会財政

2018年度決算報告にある通り、2018年度は約1,400千円の大幅な赤字となりました。2017年度に協会会費の値上げをさせていただきましたのに、このような決算結果となったことについて、理事会として深くお詫びします。

詳細は2018年度決算報告の中で説明させていただきますが、協会財政は会費収入が約5,500千円、これに対して、最低限度協会活動を維持する事務所経費が8,000千円弱で、この差額を寄付金で充当せざるを得ない構造となっています。しかし、認定NPO法人になった当初の寄付金約5,000千円が、平成30年度は3,400千円に落ち込み、その分がほぼ収支赤字となっています。

2018年度末の協会の翌期繰越残高は2,361千円です。このような、赤字が継続すれば来年度協会の財政は破綻してしまいます。2019年度は、財務的に協会の存続をかけた年となると考えています。

4. まとめ

協会は2013年8月に認定NPOの資格を得て、5年後の第1回の認定更新の申請を昨年3月9日に行いました。その後、2回の実地調査を受けて、今年4月11日に漸く更新認定を受けました。認定NPO更新にあたって実地調査で厳しく指摘を受けたのは、協会活動の公共性と会計処理を含めた業務の公明性の確保でした。

認定NPOは、税制に寄付金控除を持ち込み、寄付金募集を容易にしてNPOの活動をサポートする制度です。現在、協会活動は資金面で非常に苦境に陥っていますが、今回の更新認定NPO認定を最大限に生かした寄付金募集に注力し、中途失聴・難聴者の社会参加促進と協会財政の改善を図るべく最大限の努力をしてみたいと考えます。

事業報告(一覧)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	2019年2月3日	中野サンプラザ	61
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月1回程度	東京都障害者福祉会館 他	504
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年9回	東京都障害者福祉会館	270
	実践読話講習会	年17回	東京都障害者福祉会館	237
	地域コミュニケーション啓発講座	年5回	八王子市・葛飾区・多摩市・渋谷区・北区	217
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年20回	東京都障害者福祉会館	690
	手話講習会応用クラス多摩	年20回	多摩障害者スポーツセンター他	666
	例会	年11回	東京都障害者福祉会館	459
	高齢者対象「手を動かそう」	年12回	東京都障害者福祉会館	260
	講師等派遣	東京手話通訳等派遣センター・国立障害者リハビリテーションセンター学院他		15
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	「協会ニュース」発行	月1回	当会事務所	57
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	17
	第32回集い	11月4日	パルテノン多摩	330
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年12回	東京都障害者福祉会館	171
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	11
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	当会事務所	5
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月1~2回	東京都障害者福祉会館 他	4266
その他	高齢難聴者生きがい講座・実践読話講習会・地域コミュニケーション啓発・地域福祉相談支援ゼミ等事業計画・進行管理・会計処理・事務処理等コーディネーター業務	2018年4月1日~2019年3月31日	当会事務所	238

2. 収益事業

自動販売機による委託販売(7か所8台)

東京都庁第一本庁舎鍛冶屋橋クラブ・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園、東京しごと財団(2台)・東京都第六建設事務所・東京都多摩職業能力開発センター八王子校

事業報告

事務局

1.体制

事務局長:宇田川芳江 職員:石田豊子、井田いく子、木村朋子、松枝朋美

2.活動報告

- ・理事会(4/28・5/12・5/26・6/23・7/28・8/25・9/22・10/27・11/17・12/22・1/26・2/16・3/23)
- ・東京都福祉保健局との懇談会 7/4 (44人)
- ・人工内耳に関する講座 2019/2/3 中野サンプラザ研修室
- ・「手話・字幕付胃検診」受付 9/29(19人) 12/1(13人)
- ・高齢者対象「手を動かそう」月1回第1金曜日 12回実施
- ・協会ニュース発送 毎月1回 第2土曜日・年度途中から第2金曜日 12回 会員有志の協力
- ・「第48回耳の日記念文化祭」参加 2/23・24
- ・「自立支援センターまつり」参加 7/15
- ・例会 毎月第4日曜日 12回

実施日	テーマ	参加者数
4月22日	平成30年度東京都意思疎通支援事業説明会	16
5月27日	通常総会	457 (出席107)
6月24日	字幕で落語を楽しもう	45
7月22日	講演会「そうだったのか難聴者が聞き取れない理由」	60
8月26日	避難所運営ゲーム HUG	24
9月23日	協会と私&マルシェ	18
10月28日	新入会員説明会&交流会	55
11月4日	第32回集い	330
12月23日	クリスマス会	56
1月27日	要約筆記を学ぼう	21
2月17日	手話で脳トレ広がる輪	29
3月24日	講演会「2つめの聞こえにくさの改善テクニック」	39

事業委員会

1.体制 委員長:新谷友良 委員:宇田川芳江・大江千枝・小笠原晶子・丸山由美子

2.活動報告

委員会開催 4/18 5/16 6/20 7/18 9/19 10/17 11/21 12/19 1/23 2/20 3/27

3.事業報告

I 助成事業

(1)東京都福祉保健財団助成事業

- ①実践読話講習会
- ②高齢難聴者生きがい講座(運営担当:実年部)
- ③地域福祉相談ゼミ
- ④地域コミュニケーション啓発講座(運営担当:組織部)

II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1)聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会委託事業)

III 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1)手話講習会応用クラス(三田・多摩)
- (2)手を動かそう

IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1)東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)
- (2)東京都読話講習会
- (3)手話指導者養成クラス(中途失聴・難聴者向け手話指導)
(5/17 5/24 5/31 6/14 6/21 7/5 7/19 8/2 8/23 9/6 9/13 9/20)
- (4)講師派遣事業
 - ①東京都心身障害者福祉センター相談支援従事者初任者研修(7/4)
 - ②東京手話通訳等派遣センター(8/1 8/8 12/12)
 - ③多摩市要約筆記者研修(8/26)
 - ④茨城県中途失聴・難聴者コミュニケーション講習会 読話講座(8/25)
 - ⑤中野区聴覚障害者情報活動センター 補聴器講演会(9/29)
 - ⑥町田市要約筆記者養成講座(10/29)
 - ⑦中野区中途失聴・難聴者の会「みんなの聞こえの学習会」(11/10 1/12)
 - ⑧港区立高齢者福祉センター白金台いきいきプラザ主催「白金台いきいきカフェ」(12/14)
 - ⑨東村山市「聞こえにくい人とのコミュニケーション講座」(2/12)
 - ⑩中途失聴・難聴者「つばさの会」府中 読話講座(2/16)
 - ⑪ACAP 研究所「消費者対応部門における高齢者対応研究会」(2/25)

広報委員会

NPO法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

1. 体制

委員長:新谷友良 委員:宇田川芳江・小島敦子・皆川みさ子・村田美和・山内菜央子
オブザーバー(平成30年1月より):村田美和

2. 活動報告

- (1)委員会を開催した。4/11 5/9 6/13 7/11 9/12 10/10 11/4 12/12 1/16 2/13 3/20
- (2)「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の見直しを進めた。
会報印刷について、適切な方法を検討した。
- (3)協会ホームページについて、適切な情報発信と更新ができるよう努めた。
- (4)フェイスブックのアカウントを取得し、ホームページと連携して情報発信できるよう進めている。

防災委員会

1. 体制

委員長:木村昭夫 委員:小川光彦、松之木礼毅

2. 活動報告

- (1)委員会開催 毎月1回平日夜間開催 計10回実施
- (2)例会 8/26「課題が見える!避難所運営ゲーム 避難所を仕切るのは君だ」
- (3)委員会主催 12/5「東京防災を読む会in三田」
- (4)マルチメディア放送との面談
V-ALERTを用いた聴覚障害者のデジタルデバインド解消事業デモンストレーション
- (5)ドコモみえる電話モニタリング みえる電話「33展」聞こえづらい映像監修協力
- (6)au藤澤氏面談
- (7)心のバリアフリーを目指すプロジェクト「en」実証実験
- (8)ICTを活用した避難訓練実証実験
 - ①秩父宮ラグビー場 ②武蔵野の森総合スポーツプラザ
- (9)「東京国際消防防災展」「防災産業展」「ぼうさいこくたい2018」視察
- (10)減災支援隊との合同協議
- (11)東聴連災害対策会議出席
- (12)各委員の地域防災訓練参加

福祉対策部

1. 体制

部長:小川光彦 会計:南由美子 部員:宮本忠司・小谷野依久・大畑貴裕

2. 活動報告

(1) 協会内部

- ①部会実施 4/11、5/28、6/14、7/22、8/27、10/5、12/3、12/22、2/4、3/13の10回
- ②施設・交通アクセシビリティ活動 アクセシビリティ関連事例の収集
- ③7/22例会「難聴者が聞き取れない理由」田村浩一先生(病理医) 参加者60名。
- ④学習会4回開催、参加延べ66名。
6/18「聴覚障害者の被選挙権」18名、9/30「難聴者が聞き取れない理由」台風で中止、10/18「ケータイアクセシビリティ」24名、11/22「元気の出る難聴コミ」14名、12/23「クリスマスブレスト！」10名。企画実施。
- ⑤その他協会諸行事の実施協力

(2) 協会外部

- ・7/4 対東京都予算交渉懇談会 要望案
- ・地域コミ講座等で補聴機器関係の講演活動を依頼され、複数回実施した。

3. 反省点・課題など

- (1)情報バリアフリー、アクセシビリティをテーマとして活動しているが、特に後者はまだまだ知られていない。「福祉」を看板に掲げているが、必ずしも部の活動形態と合っていない。福祉対策活動への期待に応えられていない。
- (2)啓発目的の講演会を年4回開催したが、内容が直前に固まり企画の意図が見えにくかった。計画的な実施に努める。
- (3)協会財政状況を考慮し、行事開催にあたって部の独自収入を図り、部の運営維持、効果的な事業実施に努めている。継続する。
- (4)引き続き活動できる新部員勧誘に努める。

要約筆記普及部

1. 体制

部長:森岡見帆 会計:生田真弓 部員:野本美香

2. 活動報告

- ①部会開催(12/24)
- ②1月例会(1/27)
「要約筆記を学ぼう！活用しよう！」講師を森岡が担当した
- ③ファシリテーション・グラフィック3回連続勉強会(12/19, 1/17, 2/14)
講師:藪田雪子氏(藪田雪子事務所代表)
参加者:延べ36名(3日間)
- ④「対話」を上手に活用してみよう！(3/23)
講師:渡邊祐子氏(“Museum Start あいうえの”プログラム・オフィサー)
参加者:15名

手話対策部

1. 体制

部長:坂山己世 副部長:石川千鶴 中村麻子 会計:国吉玲子
部員:明田美奈子 市川裕美 掛水泉 河合優子 神尾優子 斉藤祐子 志村瞳 関ひかり
長沼知子 中村みずほ 丸山利江 和田すが 山崎由紀子 17名

2. 活動報告 場所:東京都障害者福祉会館

月日	内容	参加者数	月日	内容	参加者数
4月9日	部会	11	10月1日	部会	13

5月14日	部会	14	10月14日	ミニ手話講座	55
6月11日	ミニ手話講座担当者会議	5	11月12日	部会部内研修2回目宇田川芳江氏	13
6月11日	部会 第1回研修 高井洋氏	13	11月14日	わくわく手話講座初級編	20
6月17日	講演会 原田洋行氏	60	12月10日	部会	9
7月4日	都との懇談会	6	12月21日	理事会参加	1
7月9日	ミニ手話講座担当者会議	5	12月23日	協会クリスマス会	7
7月9日	部会	12	1月16日	わくわく手話講座中級編	16
8月14日	部会 ミニ手話講座準備	12	1月21日	部会	7
8月20日	ミニ手話講座担当者会議	5	2月3日	臨時部会(例会の相談)	8
8月20日	部会	14	2月3日	特別講演会 松森果林氏	33
8月28日	都民ファースト ヒアリングに参加	1	2月17日	協会例会協力「手話で脳トレ」	29
9月10日	部会	12	3月11日	部会	8
10月1日	役員会議	4	3月20日	わくわく手話講座上級編	22

会報編集部

1. 体制

部長:小島敦子 会計:成瀬幸男

部員 入江友紀子 岩崎幣介 木本練子 堀川すみれ 柴田由美

2. 活動報告

(1)会報「協会ニュース」の編集(毎月第2土曜日発行)

(2)編集会議 4/11 5/9 6/13 7/11 8/8 9/12 10/10 11/14 12/12 1/9 2/13 3/13 全12回

(3)初校校正 4/25 5/30 7/4 8/1 8/30 10/3 10/31 11/28 12/24 1/30 2/27 全11回

組織部

1. 体制

部長:有馬富江 副部長:金子晶子・井桁洋子 会計:青木房子

部員 岩崎幣介 江口祐子 小林圭子 丸山由美子 渡辺恭子

2. 活動報告

月日	内容	場所	参加者数
4月14日	部会	都障害者福祉会館	8
4月27日	ネットワークニュース106号配信		
4月28日	立川市コミュニケーション啓発講座 「中途失聴・難聴者について学ぶ」 講師:宇田川芳江氏	立川市女性センター 「アイム」	43
5月12日	部会	都障害者福祉会館	7
5月25日	ネットワークニュース、インタビュー	都障害者福祉会館	3
6月9日	部会	都障害者福祉会館	8
7月8日	部会	国分寺労政会館	8
7月8日	地域懇談会:地域の活動状況や課題。 情報、意見交換	国分寺労政会館	50
7月27日	ネットワークニュース107号配信		
8月4日	部会	都障害者福祉会館	6
9月8日	部会	都障害者福祉会館	8
9月15日	府中市コミュニケーション啓発講座	市民活動センタープラッツ	54

	「聞こえない悩みの支援とは」 講師:新谷友良氏		
9月26日	ネットワークニュース、インタビュー	都障害者福祉会館	5
10月13日	部会	都障害者福祉会館	9
10月26日	ネットワークニュース 108号配信		
10月28日	新入会員説明&交流会	都障害者福祉会館	55
11月10日	部会	都障害者福祉会館	7
12月2日	中央区コミュニケーション啓発講座 「補聴器を使いこなそう」 講師:小川光彦氏	中央区勝どき区民館	21
12月6日	ネットワークニュース、インタビュー	都障害者福祉会館	6
12月8日	部会	都障害者福祉会館	7
1月12日	部会	都障害者福祉会館	7
1月19日	北区コミュニケーション啓発講座 「読話って何?読話をためしてみよう」 講師:大江千枝氏	北区東十条区民センター	48
1月25日	ネットワークニュース 109号配信		
3月9日	部会	都障害者福祉会館	8
3月29日	ネットワークニュース、インタビュー	府中プラッツ	5

実年部

1. 体制

部長:関根一喜 会計:吉田桂子 部員:長内節子・菊地久江

2. 活動報告

月日	内容	場所	参加者数
4月20日	手話講座「手話をもう一度④」 講師:中村みずほ氏	東京都障害者福祉会館	30
6月15日	江戸東京たてももの園見学会	江戸東京たてももの園	14
7月20日	読話講座① 講師:大江千枝氏	東京都障害者福祉会館	20
9月23日	中難協・月例会協力・マルシェ	東京都障害者福祉会館	18
10月19日	「江戸のある町・谷根千グルメ散策」	谷中・根津・千駄木	20
11月16日	「隅田川の流れに沿って懐かしい 町並みを歩こう」	向島界限	19
1月18日	初詣・新年会 湯島天満宮初詣・アケビの実バイキングランチ	湯島天満宮・旧岩崎庭園	24
2月15日	「介護予防体操」 講師:東京YMCA米澤竜彦氏	東京都障害者福祉会館	28
3月15日	「防災・減災」 講師:(株)トーヨーフーズ 瀬川義雄氏 後半は非常時チェックリスト作成	東京都障害者福祉会館	37

女性部

1. 体制

部長:明田美奈子 副部長:会計:渡辺江美 部員:今井初恵・高田香苗・寺田由紀子・樋口真弓他2名

2. 活動報告

月日	内容	場所	参加者数
4月5日	企画会議、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	3
4月28日	5月企画、6月例会の打合せ	〃	4
5月5日	ぼた餅作り	〃 料理室	21
5月23日	全難関東ブロック女性部会議	川崎情報文化センター	1
5月30日	協会6月例会のリハーサル	東京都障害者福祉会館 B1	6
6月7日	10月企画の下見、打合せ	昭和記念公園	3
6月24日	協会6月例会「字幕付き落語」	東京都障害者福祉会館 B1	45
6月30日	全難女性部総会	兵庫、神戸	1
7月5日	企画会議、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	2
8月2日	8月企画打合せ他	東京都障害者福祉会館 C1	4
8月4日	折り紙&納涼会	〃	17
8月30日	9月企画打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	4
9月1日	講演会 宇田川芳江氏	〃 教室	12
10月4日	企画会議、打合せ	〃 C1	4
10月6日	昭和記念公園、コスモス散策	昭和記念公園	17
10月15日	1月企画 巣鴨初詣下見	巣鴨	4
11月1日	企画会議、打合せ	東京都障害者福祉会館 C1	3
11月29日	12月企画の打合せ	〃 C1	4
12月1日	ヨガ体験	〃 B1	17
12月23日	クリスマス会協力&1月企画打合せ	〃	3
1月12日	巣鴨とげ抜き地蔵初詣	巣鴨	6
1月31日	2月企画の打合せ、子連れあり	東京都障害者福祉会館 E	7
2月2日	メガネケース作り	〃 教室	17
3月7日	次年度活動計画会議	〃 C1	4
3月11日	全難関東ブロック女性部長会議	新前橋総合福祉センター	1

青年部

1. 体制

部長:石川寛和 副部長:高野悠人(兼会計)、酒井宏長 企画:藤嶋慶太、藤中辰郎

2. 活動報告

月日	内容	場所	参加者数
4月15日	今、流行りのアドラーについてみんなで学ぼう!	東京都障害者福祉会館	12
6月30日	料理教室	アカデミー向丘	28
7月15日	みんな de 人狼ゲーム(東聴連青年部と合同)	リフレッシュ氷川	80
8月26日	ワイン交流会	秋葉原	10
9月29日	手話勉強会&交流会	東京都障害者福祉会館	24
10月14日	JAXA 見学ツアー	JAXA 筑波宇宙センター	15
11月11日	ワークショップ「英語から ASL・PSL・SEE を学ぼう!」	東京都障害者福祉会館	14
12月15日	Xmas ランチ会(東京ミッドタウン日比谷)	東京ミッドタウン日比谷	15
1月27日	【1月例会】要約筆記を学ぼう!活用しよう!	東京都障害者福祉会館	20

文化部

【手話サークル 三田屋】

1. 体制 会員数:62名

代表:田端 茂 副代表:中村麻子 会計:及川由喜江・吉田桂子 総務:地引千恵子・佐々木利子

2. 活動日 毎月第2金曜日・土曜日(13時30分～15時30分) どちらか選り参加
毎月第4土曜日(10時～11時45分)
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 第2週:五十嵐郁子氏 第4週:金井富美子氏
5. 活動報告 例会のほか、8月創立25周年記念交流会・講演会(谷千春氏)、12月クリスマス会を実施

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 会員数:44名
代表:清水政昭 副代表:渡辺美恵子 総務:鍛冶聡 会計:中角淳子 会計監査:井上春江
2. 活動日 毎月第1・第3土曜日、午後6時～8時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 ふくろうクラス:宮本正明氏 みみずくクラス:伊勢正子氏
5. 活動報告
【手話学習会】年間20回(両クラス合同での学習会11月に実施)
【親睦会】食事交流会、納涼会、忘年会、七福神めぐり

【多摩手話サークル】

1. 体制 会員数:22名 代表:志村瞳 副代表:青木房子 会計:島田律子
2. 活動日 毎月第2、第4木曜日 午後1時30分～3時30分
3. 活動場所 味の素スタジアム施設
4. 講師 和田すが氏
5. 活動報告
4/12(総会)・4/26・5/10・5/24・6/14・6/28・7/12・7/26・8/9(夏休み)・8/23(納涼会)・9/13・
9/27・10/11・10/25(野外活動)・11/8・11/22・12/13・12/20(クリスマス会)・1/10・1/24・2/14・
2/28(反省会)・3/14・3/28(味の素スタジアム見学)

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 会員数:30名 代表:小島敦子 会計:板橋桂子
2. 活動日 毎月第1・第3火曜日 午後1時30分～3時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 真藤千枝氏
5. 活動報告

月日	内容	別会場	参加者数
4月3日	第13回定期総会	立川アイム	25
17日	新会員の紹介 新しい手話の学習		28
5月1日	GW 休み		
15日	新しい手話 2018 の単語を使った短文作り①		24
6月5日	前回作った短文の発表		24
19日	手話クロス ()の中に合った言葉を入れましょう		22
7月3日	擬音語、擬態語の手話表現		22
17日	手話クロス 短文表現	立川柴崎学習館	19
8月7日	夏休み		
21日	夏休み		
9月4日	「〇〇でぱったり会って…」会話文作成・発表①		15
18日	手話クロス 短文表現	立川アイム	22
10月2日	「〇〇でぱったり会って…」会話文発表②	立川アイム	22
16日	パーツを組み合わせて2字熟語を作成	立川アイム	22
11月6日	「〇〇でぱったり会って…」会話文発表③		23
20日	手話クロス 短文表現		21
12月4日	擬音語、擬態語の手話		25

18日	クリスマス交流会		23
1月1日	正月休み		
15日	今年の抱負 「十二支の物語」の表現	立川アイム	24
2月5日	「十二支の物語」の表現②		22
19日	手話クイズ		21
3月5日	二字熟語作成 短文表現		25
19日	役員会(次年度総会準備)のため休講		

【三田書道サークル】

1. 体制 部員数:7名 代表:片山善衛 運営委員:神林喜世子 会計:小沢宏之
2. 活動日 毎月第1・3木曜日 午後1時30分～4時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 木下修子氏(書道師範)
5. 活動報告
中国、日本の古典名筆の臨書を基本にしているが、テーマは自由。特に千字文など臨書学習している。生きがい講座で体験学習、耳の日記念文化祭で作品の展示を実施し、好評。

【生け花教室】

1. 体制 部員数:7名 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子
2. 活動日 毎月第1・3水曜日(月により第2・4水曜日に変更あり) 午後6時～9時(この間は稽古自由)
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 活動報告
今年も「耳の日文化祭」に出展できた。今年作品は花材をふんだんに使った作品構成にした。日頃の成果をご来場いただいた方々に観ていただき、春の息吹を感じていただけたと同時に、出展者にとり今後のお稽古の励みになった。
今年も代表が出展した各流派が一堂に会しての新宿高島屋の花展では、素晴らしい作品に刺激を受け大変勉強になった。

【手話コーラスすみれ会】

1. 体制 会員数:8名 代表:堀江晴子 副代表:会計:山城志津子 運営委員:渡辺敏子・佐瀬綾子
2. 活動日 毎月第1・第3水曜日 午後1時30分～4時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 活動報告
「高齢難聴者生きがい講座」で、体験学習として手話コーラスを6曲歌った。例会では始め、簡単な歌で頭の体操。その後季節感のあるもの、懐かしい歌など毎回6曲手話で歌った。クリスマス会では開始時間を1時間早め、食事しながらおしゃべりを楽しんだ。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 部員数:15名 代表:片山善衛 運営委員:堀川すみれ 会計:山家一恭
2. 活動日 毎月第2木曜日 午後1時30分～4時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 石井幸子氏(日本絵手紙協会講師)
5. 活動報告
絵手紙は決まった描き方でなく、自分の感じたまま自由に描いてポストイン。気楽なので会員は増加傾向。生きがい講座で体験学習、耳の日記念文化祭で作品展示、体験コーナーで好評。

【読話サークル】

1. 体制 代表:沖田健吉 会計:井上春江 副会計:石井やい子 窓口:入月幸子 委員:大江千枝
2. 活動日 毎月第2・4水曜日 午後6時30分～8時30分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館

4. 活動報告

活動日	内容	参加者数	活動日	内容	参加者数
4月11日	学習	12	10月10日	学習	11
4月25日	学習	14	10月24日	学習	13
5月9日	学習	13	11月14日	学習	13
5月23日	学習	13	11月28日	学習	11
6月13日	学習	12	12月12日	交流会	13
6月27日	学習	12	1月9日	学習	10
7月11日	交流会	11	1月23日	学習	11
7月25日	学習	12	2月13日	学習	9
8月22日	学習	11	2月27日	学習	8
9月12日	学習	14	3月13日	学習	9
9月26日	学習	9	3月27日	学習	13

【昼の読話サークル】

1. 体制 会計: 井戸ゆり江 副会計: 佐々木利子 委員: 貝良塚ムネ・柴草悦子 窓口: 井上春江
2. 活動日 毎月第1・4水曜日 午後2時～4時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 活動報告

活動日	内容	参加者数	活動日	内容	参加者数
4月4日	学習	16	10月3日	学習	11
4月25日	学習	14	10月24日	学習	14
5月2日	学習	17	11月7日	学習	15
5月23日	学習	19	11月28日	学習	11
6月6日	学習	16	12月5日	学習	14
6月27日	学習	13	1月9日	学習	12
7月4日	学習	12	1月23日	学習	10
7月25日	学習	16	2月6日	学習	11
8月1日	親睦交流会	11	2月27日	学習	15
8月22日	学習	12	3月6日	学習	14
9月5日	学習	12	3月27日	学習	15
9月26日	学習	13			

【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 (会員数 11名)
代表: 江尻智行 副代表: 石川千鶴 会計: 山田恵美子 監査役: 高橋理・池谷共子
2. 活動日 毎月第1・第3月曜日 午後1時30分～3時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 河合優子氏
5. 活動報告 講師指導…5/21、6/18、7/2、9/3、10/15、11/19、12/17、1/21、2/18、3/18(10回)
自主学習…4/23、5/7、6/4、7/23、9/10、10/1、11/5、1/7、2/4、3/4(11回)
総会…4/16
交流会…12/3